

2020年3月期第1四半期 決算ハイライト

三菱地所株式会社

●2020年3月期第1四半期決算 連結業績概要

 単位:百万円
 (百万円未満切り捨て)

	2020/3-1Q 実績	2019/3-1Q 実績	増減	増減率	2020/3 予想 (2019/5/14公表)
ビル事業	121,081	149,551	△ 28,469	△ 19.0%	590,000
生活産業不動産事業	36,982	23,075	13,906	60.3%	120,000
住宅事業	71,386	68,966	2,419	3.5%	402,000
海外事業	16,600	11,229	5,371	47.8%	137,000
営業収益	265,883	272,660	△ 6,777	△ 2.5%	1,360,000
ビル事業	33,851	37,323	△ 3,472	△ 9.3%	153,000
生活産業不動産事業	10,189	7,056	3,132	44.4%	35,000
住宅事業	2,540	1,238	1,302	105.2%	20,000
海外事業	6,082	3,780	2,301	60.9%	37,000
営業利益	46,850	45,322	1,527	3.4%	230,000
経常利益	43,978	39,877	4,101	10.3%	207,000
親会社株主に帰属する 四半期純利益	26,420	25,297	1,122	4.4%	137,000
EBITDA	71,969	68,461	3,508	5.1%	324,000

<要旨>

【全体】2020/3-1Qの業績は、前年同期比で減収増益。減収の主な要因は、前期のビル事業における物件売却収入の反動。全社でのキャピタルゲイン等は前期並み。増益の主な要因は、新規ビルの通期稼働、アウトレット事業の好調等による賃貸利益の増加や海外分譲マンション事業の利益の増加。各セグメントにおける前年同期比増減の主な要因は下記の通り。

【ビル事業】新規ビルの賃貸収入・利益が増加したが、物件売却収入・利益の減少により減収減益。
 (空室率) 丸の内におけるテナント入替に伴う一時的な空室の発生等により、全国全用途及び丸の内事務所の空室率が上昇した。尚、当該空室の発生については期初の予想に織り込み済みであり、跡貸しも想定通り順調に進捗しているため、期末の予想に変更はない。
 (平均賃料) 丸の内の新規ビルにおける賃料発生、及び丸の内を中心とした既存ビルの賃料改定等の影響により上昇した。

		2019/3 実績	2019/6 実績	2020/3 予想 (2019/5/14公表)
空室率	全国全用途	1.80%	2.29%	1.5%
	丸の内事務所	2.19%	2.69%	
平均賃料(全国全用途)		26,702 円/月坪	26,910 円/月坪	26,900 円/月坪

【生活業不動産】 物件売却収入・利益の増加、アウトレット事業の好調等により増収増益となった。

【住宅事業】 国内では、賃貸マンションの売却収入が減少したが、海外の分譲マンション事業の売上・利益の増加等により増収増益となった。

【海外事業】 物件売却収入・利益の増加に加え、大規模リニューアル工事中の米国のオフィスビルで、部分的に工事が完了し稼働率が上昇したことにより増収増益となった。

●2020年3月期 連結業績見通し

2019年5月14日の公表数値から変更なし。

注意事項

本資料および決算短信、FACT BOOKに記載される業績予想に関しましては、発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要素により異なる結果となり得る事を、ご承知おき下さい。

決算短信、FACT BOOKは当社HPよりご参照ください。

◇<http://www.mec.co.jp/j/investor/irlibrary/materials/index.html>

以 上